

■■■■■■■ 第 88 号 (2024.10.22) △△△

こんにちは。

あなたやあなたのお客様の商品やサービスが

もっともっと世の中に知られて、

売れていくために大切なもの

「あなたのために『名入れ』を追求する」

マツウラです。

日頃のマツウラの様子がわかる記事を

中心にお伝えしていきます。

* * * * *

◆それでは「となりのマツウラさん」の各記事をお楽しみください。

目次

【1】 * * * 周年行事で感謝の気持ちを * * *

【2】 * * * 今週のマツウラ SNS 新着 * * *

【1】 * * * 周年行事で感謝の気持ちを * * *

数年前のコロナ禍の頃が嘘のように仕事でも私生活でも以前のように活動的になり
それまで実施したくても出来なかった「〇〇周年記念」や「新年会」などのイベントも
昨年あたりから増えてきたように感じます。

マツウラでもよくお客様から

「何をしたらいいかわからない」

「企画・運営まで手が回らない」

「他社が〇〇をしていたからうちも〇〇をしたい」

など、一年に一度や数年に一度、もしくは数十年に一度のことなので

何かやりたい気持ちはあるけれど結局手を付けられずにその年が終わってしまった。

というお話を頂くことがあります。

そこでマツウラでは数年前から「周年事業」のお手伝いをさせて頂いておりましたが、
正直あまり告知などが出来ていませんでした。

そこで今回、改めてチラシを作成することとなりましたので

一足先にこちらでご報告させていただければと思います。

マツウラでは周年行事は社内外に「感謝」を伝え、良好な関係を再構築できる大切な機会になると考えております。

そして、その想いを共に作り上げるお手伝いをマツウラにもさせて頂ければと思います。

創業60周年を迎えたお客様がコロナ禍の影響でパーティー等のお客様を迎えての行事ができませんでしたが、別の形にかえて周年事業を行いました。

これから周年を迎える企業様のヒントになればと思いご紹介させていただきます。インタビューをさせていただきましたのでご覧ください。

～周年事業にあたり～

ミカド電装商事株式会社 様

当社は蓄電池をメインに扱うことになって、今年でちょうど60周年を迎えることとなりました。

そこで本来なら、日頃お世話になっているお客様をお招きしてのパーティー等の記念行事を挙げるべきなのですが、コロナの影響で行事開催は不可能と判断せざるを得ませんでした。

そこで「せめて記念誌と記念品をお客様にお配りしよう」ということになりました。

それでどこに頼もうかということになり、もともとカレンダーや紙手提げバッグなどの販促品でお世話になっていたマツウラさんに聞いてみようかと。

正直これまで、単品に名入れをお願いする、という感覚だったので、企画までお願いして良いのかなという心配もありましたが、

マツウラさんがこれまでに制作した記念誌のサンプルを拝見して、様々な企業のニーズに答えてきたんだなあと分かりましたので、私たちも正式にお願いすることにしました。

実際、こちらの要望を丁寧に聞き取りながら制作していただいたので、「ミカド電装商事の歴史を気軽に週刊誌感覚で読んでもらえる記念誌」という私たちの希望にかなった仕上がりになりました。

私たちぐらいの規模ですと、写真などの過去の記録も少なく、どうやって当社の歴史をお伝えしようかと迷いましたが、ベテラン社員へのインタビューを掲載することにより、その記憶から紡ぎ出された記録を後世に残すことができました。

反省としては今回はコロナ禍もあり、準備期間が短く、マツウラさんにご迷惑をおかけした面もあったかもしれません。

周年行事や事業を考えておられる企業は、その前年・前々年くらいからマツウラさんのような会社に相談して良いと思いますよ。

~~~~~

パーティーだけではなく、記念品や挨拶状など規模感やご予算に合わせてご提案をさせていただければと思いますので、お気軽に営業社員にご相談いただければと思います。

チラシ URL はこちら

[https://drive.google.com/file/d/14EesrBXs\\_aQyJDYEFWTR5jTDZDud7Qot/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/14EesrBXs_aQyJDYEFWTR5jTDZDud7Qot/view?usp=sharing)

## 【2】\*\*\*今週のマツウラ SNS 新着\*\*\*

Google ビジネス プロフィールの最新投稿をご紹介します。

皆さんは幼いころパラシュートのようにゆっくりと着地できると思い傘を広げて高いところから降りたことはないでしょうか？

そんなことをもっと壮大に考えたアンドレ=ジャック・ガルヌランがフランスのパリ公園で高度約 2500mの気球から飛び降りたのが 1797 年 10 月 22 日。この日を日本落下傘スポーツ連盟が「パラシュートの日」として制定しました

しかしパラシュートの歴史はもっと深く、最も古いパラシュートは 852 年にまでさかのぼり、その際にはコートを木の枠で補強したものを使い飛び降りたそうです。また、1485 年頃には天才レオナルドダヴィンチもパラシュートのスケッチを残していますが、こちらは他の人のものを参考にダビンチが描いたといわれています。

このように人々は飛行機を発明する前から空に思いをはせていました。  
その後パラシュートは改良を重ね、現代では軍隊や航空関係はもちろん  
レジャーやスポーツにも取り入れられ様々なカタチで取り上げられています。

とはいえ、よほどのことが無いかぎり我々一般人は使う必要はなさそうですが、  
いざ使うときの為に更なる改良をしていってほしいですね。

(株) マツウラの Google ビジネス プロフィールには、  
「こよみ」にまつわる「どこかで役にたつ！」  
かもしれない雑学記事を掲載しております！  
是非ご覧ください！

→<https://www.google.com/search?client=firefox-b-d&q=%E3%83%9E%E3%83%84%E3%82%A6%E3%83%A9%E3%80%80%E4%BB%99%E5%8F%B0#lpstate=pid:CIHM0ogKEICAgICRhtzydA>

過去のメルマガはホームページ

「お知らせ」よりご覧いただけます↓↓↓

<https://www.sendai-matsuura.co.jp/backnumber.html>

◆このメールマガジンは当社社員が  
名刺交換させていただいた皆様に向けて、  
最近のマツウラの様子や  
今後の印刷・カレンダーなどの  
動向などをお伝えすべく、  
月2回程度配信させていただく  
予定でお送りいたしております。

◇メール配信停止、配信先メールアドレスの  
変更をご希望の方、  
又は同じ配信が複数届いている方は

大変ご面倒をおかけしますが  
下記よりご登録をお願い致します。

配信停止をご希望の方

<https://bit.ly/3KhB1nx>

メールアドレス変更をご希望の方

<https://bit.ly/3dSD6dL>

◇記事内容へのお問い合わせ・その他ご意見は

[info@sendai-matsuura.co.jp](mailto:info@sendai-matsuura.co.jp)

宛てにお寄せください。

◇ホームページはこちら

<https://www.sendai-matsuura.co.jp/>

発行：株式会社マツウラ

〒984-0001 宮城県仙台市若林区鶴代町5-7-5

TEL：022-232-4413

FAX：022-232-4468

編集：松浦月子・阿部寛